

GO

Carbon Neutral!

カーボンニュートラル技術の
未来を目撃しよう。

人とくるまの テクノロジー展

2022 NAGOYA

結果報告書

プレオープン 6/22-28

2022
6/29^{WED} 30^{THU} 7/1^{FRI}

ポートメッセなごや Portmesse
Nagoya



2022 NAGOYA
Automotive Engineering Exposition

ごあいさつ

今回で6回目の開催となる「人とくるまのテクノロジー展 2022 名古屋」を2022年6月29日(水)～7月1日(金)の3日間にわたり開催いたしました。

本年は3年ぶりの現地開催となり、165社／406小間による企業にご出展いただき、3日間で16,414名の方々のご来場を賜りました。

本報告書は、展示会来場者と出展企業に対し実施いたしましたアンケートの結果を中心に構成されております。

今回の開催結果を踏まえ、次回の展示会がより良いものとなるよう努めてまいります。

今後とも、当展示会へのご支援をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

CONTENTS

開催結果概要	2
来場者データ	3
来場者アンケート	5
出展社アンケート	11
「JSAE 名古屋ベスト30」結果発表	14
貢献出展社様一覧	15
出展社一覧	16
自動車技術会企画－主催者企画展示	19
自動車技術会企画－中部支部企画展示	20
広報活動アンケート	21
掲載実績一覧	22
取材メディア一覧	23
次回開催のご案内	24

展示会規模



165社 406小間

2019年度 377社 / 817小間

展示会来場登録者数



16,414名

2019年度 19,373名

日別来場者数内訳

開催日	天候	来場登録者数	2019年度 来場者数	2019年度 来場登録者数
6月29日(水)		4,602名	10,606名	(5,001名)
6月30日(木)		5,010名	16,488名	(6,640名)
7月1日(金)		6,802名	18,420名	(7,732名)
合計		16,414名	45,514名	(19,373名)

※本年より来場者数から来場登録者数に算出方法を変更いたしました。



名称	人とくるまのテクノロジー展 2022 名古屋		
会期	2022年6月29日(水)～7月1日(金)3日間 29日(水)・30日(木) 10:00～18:00 1日(金) 10:00～17:00		
会場	ポートメッセなごや・名古屋市国際展示場		
主催	公益社団法人自動車技術会		
後援	経済産業省中部経済産業局、愛知県、名古屋市		
協賛	板硝子協会 (一社)軽金属学会 (公社)計測自動制御学会 (一社)JASPAR (一社)潤滑油協会 (一社)情報処理学会 (一社)人工知能学会 (公社)石油学会 石油連盟	(一社)電気学会 (一社)日本アルミニウム協会 (一社)日本機械学会 (公社)日本工学会 (公社)日本材料学会 (一社)日本自動車会議所 (一社)日本自動車機械器具工業会 (一社)日本自動車機械工具協会 (一財)日本自動車研究所	(一社)日本自動車工業会 (一社)日本自動車車体工業会 (一社)日本自動車タイヤ協会 (一社)日本自動車部品工業会 (公財)日本自動車輸送技術協会 (一社)日本鉄鋼協会 日本内燃機関連合会 (一社)日本マグネシウム協会

来場対象者

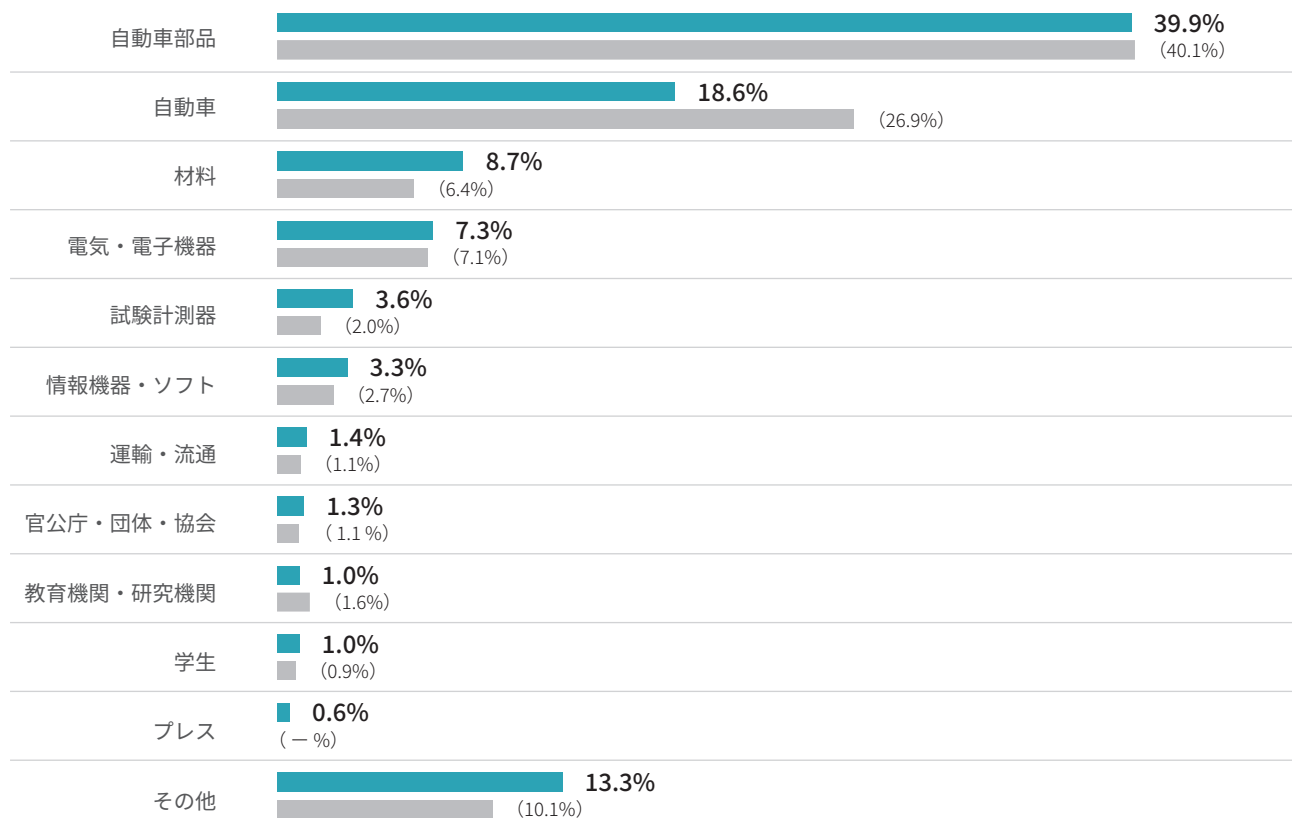
自動車・部品・車体メーカーの設計／研究／実験／開発の技術者・研究者、
生産技術・品質管理／技術管理／購買部門の担当者、公的研究機関の技術者・研究者、
自動車周辺企業の技術関係者、大学／専門学校／工業高校の教職員・学生など

VISITORS

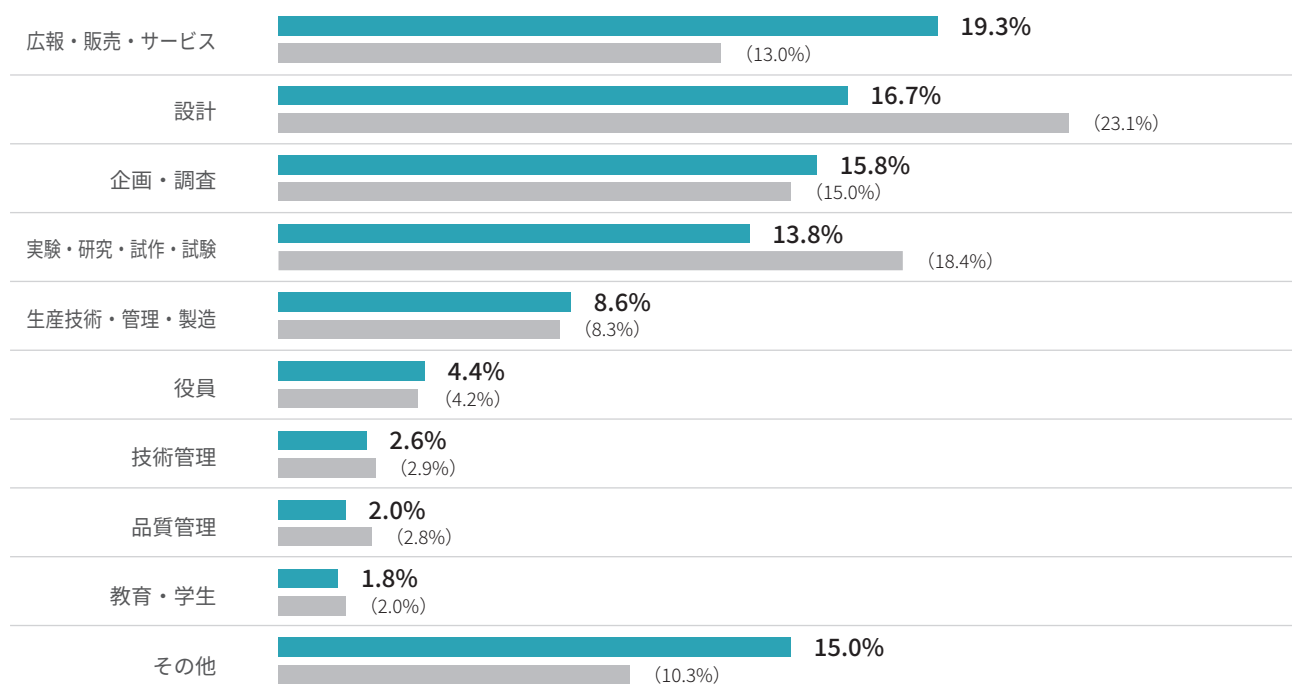
※()内は2019年度数値、(- %)表記は2022年度新規項目

 2022年
 2019年

業種

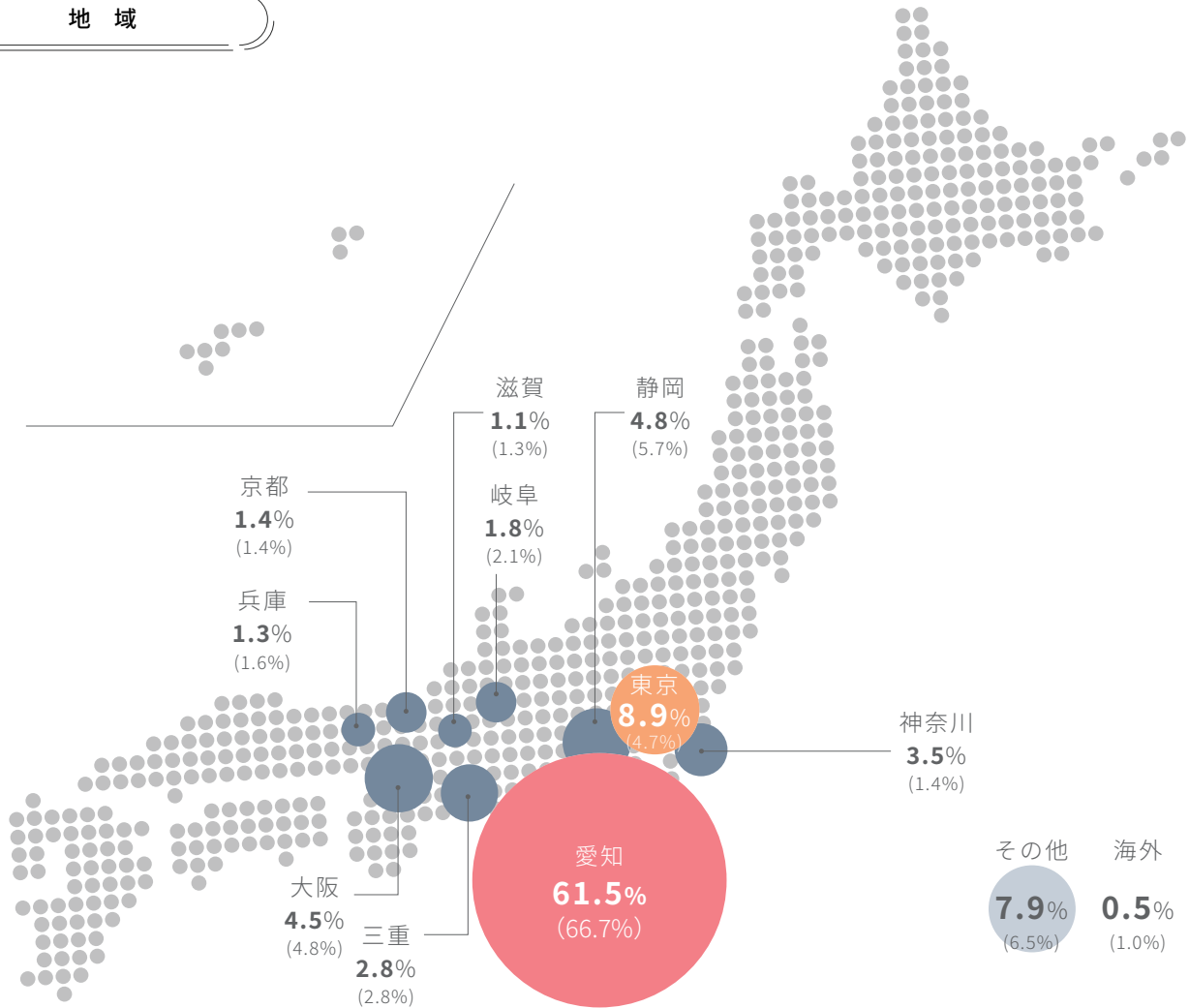


職種

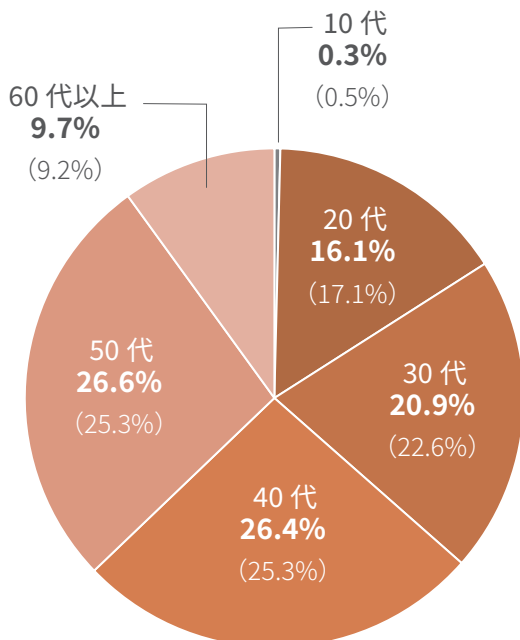


※()内は2019年度数値

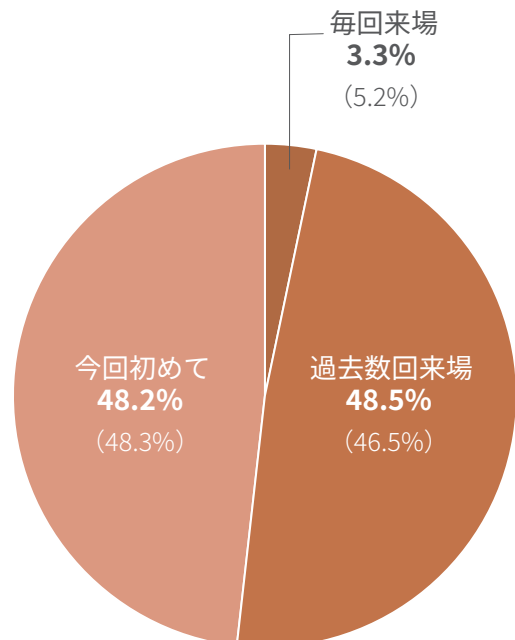
地域



年代



過去の人とくるまのテクノロジー展への
来場回数



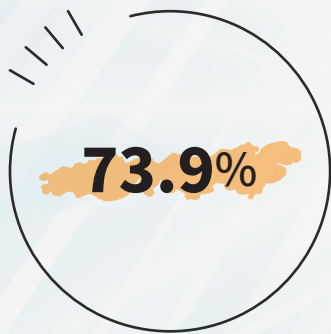
VISITORS' VOICE

来場者アンケート

有効回答件数：1,328 件

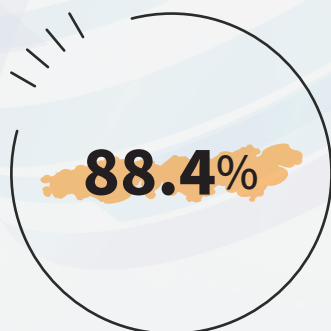
目的達成度

極めて役に立った・
役に立った



次回展示会への来場の可能性

来場する



来場者の声



自動運転に関する基礎的な知識をほとんどもっていない状況だったため、実際の会場で製品や部品等を見学でき、興味深く思いました。ブース展示を見学していた際、初歩的な質問に対しても丁寧にお答えいただけたのもよかったです。また、ハイブリッド開催されていたオンライン展示会場では、初心者向けに内容構成されているものもあり、大変参考になりました。



現地に足を運んでみて、やはりリモートよりも実際に見る、聞くほうが理解が深まると感じました。withコロナのご時世ですが、展示会を開催する意義はあると感じます。なかなか普段では状況を得ることができないCN（カーボンニュートラル）についての政府の考え（シナリオ、実務トライなどの検討状況）を知る機会が得られ大変ありがたく思っております。





各自動車メーカーの電動化対応、また、サプライヤーの製品群を実際に生で見ることができ、まさに百聞は一見に如かずの内容でした。今後の動向や現在の開発レベルなどを把握することができ、本展示会は非常に有意義でした。

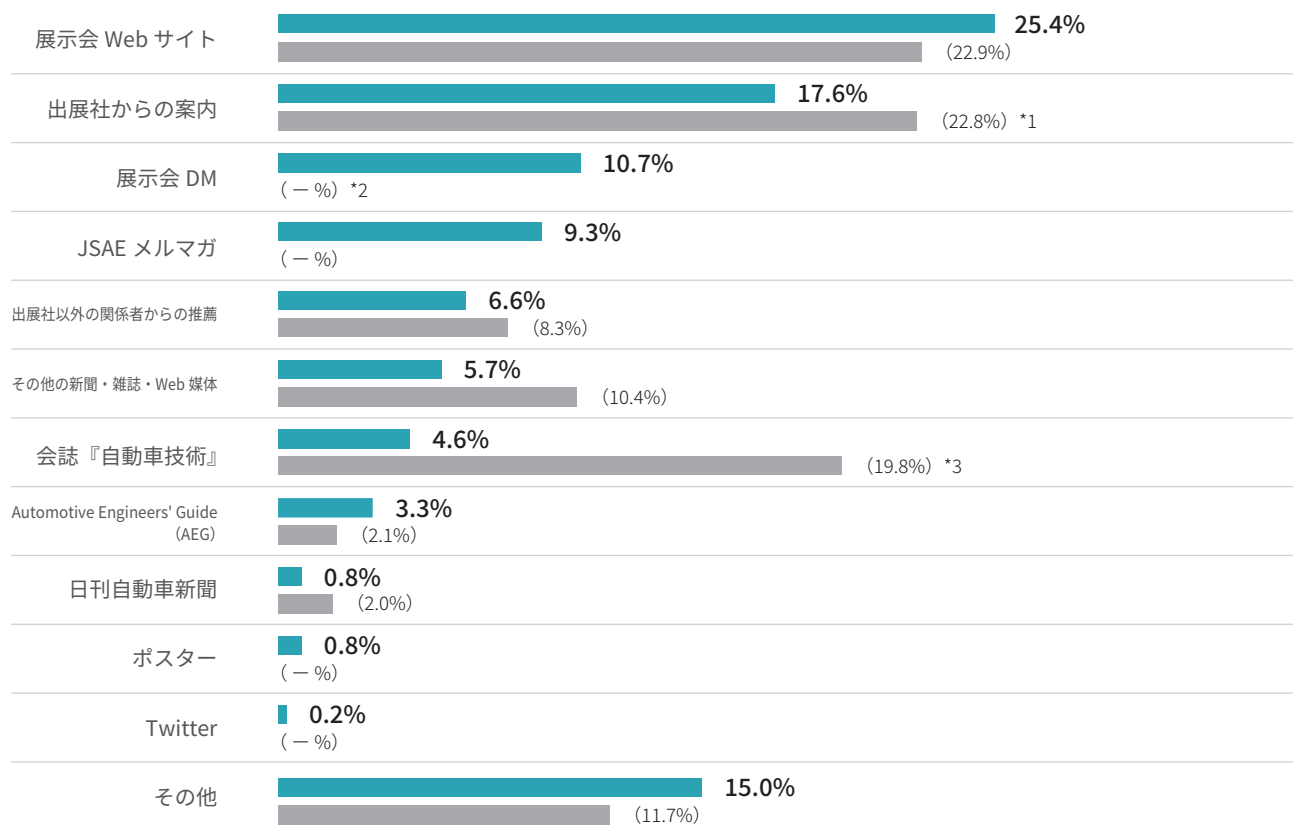


毎年自動車業界の技術トレンドを学ぶために、訪れています。リアルだと気軽に質問することができ、より理解を深められることが嬉しいです。対面の展示会はコミュニケーションがとりやすく、情報収集も予想以上の物が得られます。今後もオンラインだけでなく、対面の展示会も継続していただきたいです。

※()内は2019年度数値、(- %)表記は2022年度新規項目

 2022年
 2019年

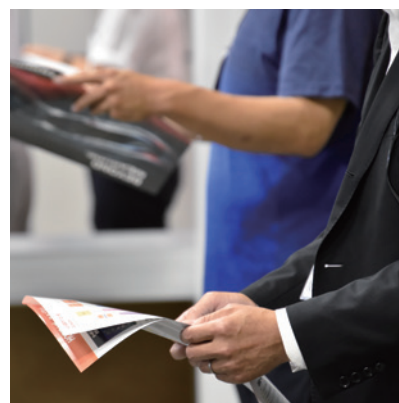
来場のきっかけ



*1 2019年度表記は「出展社からの案内・DM」



*2 展示会 DM の2019年度数値は*1、3に含む

*3 2019年度表記は「会誌『自動車技術』・DM」

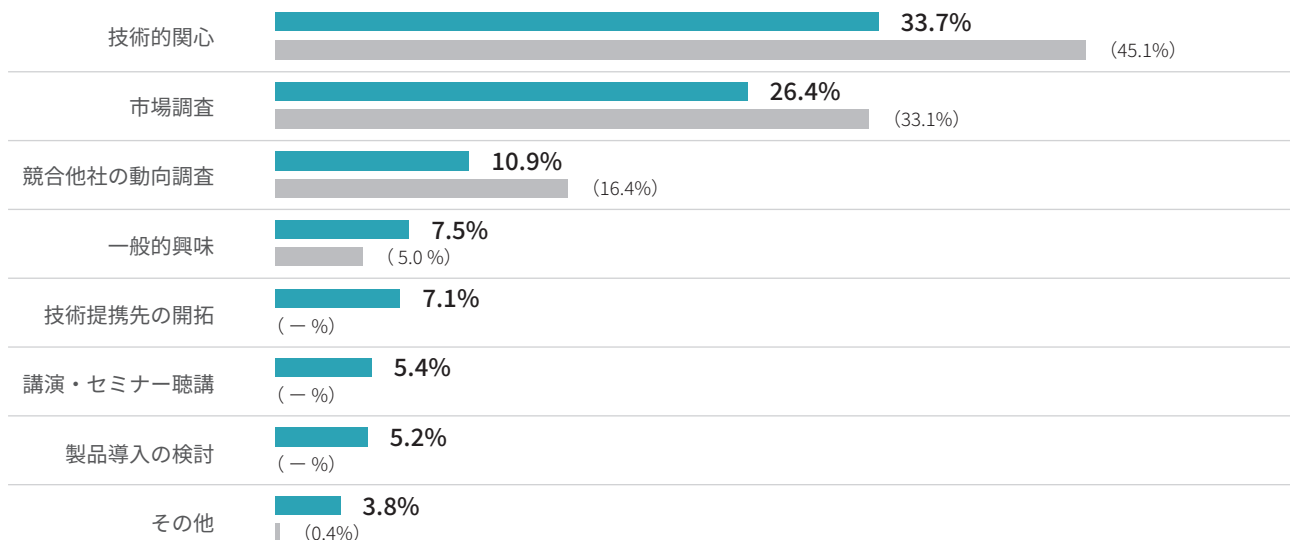


VISITORS

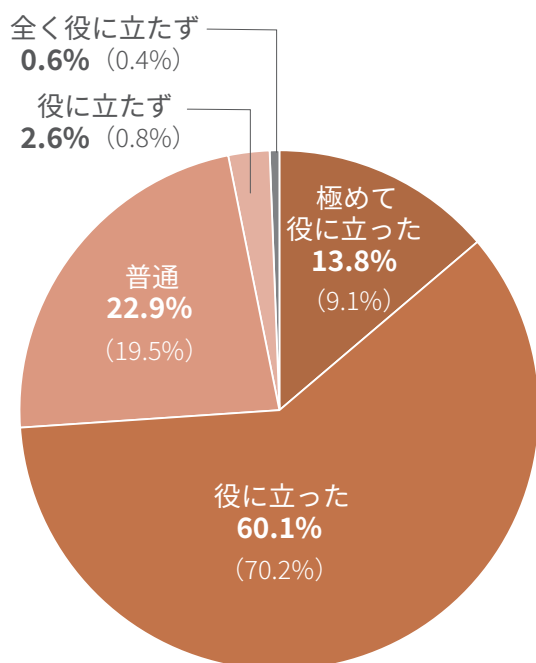
※()内は2019年度数値、(- %)表記は2022年度新規項目

 2022年
 2019年

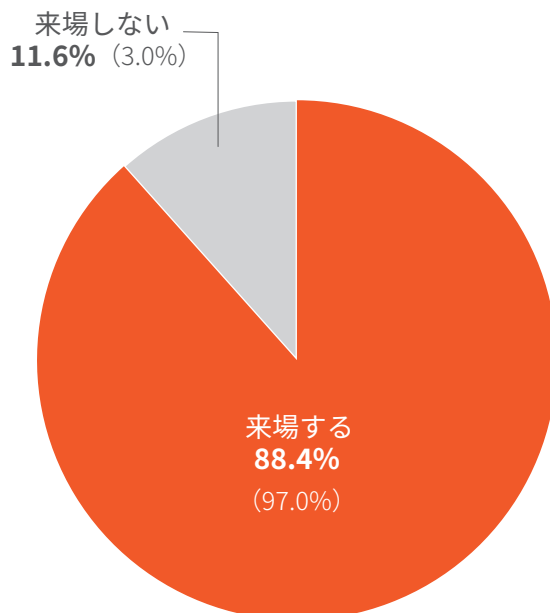
来場目的



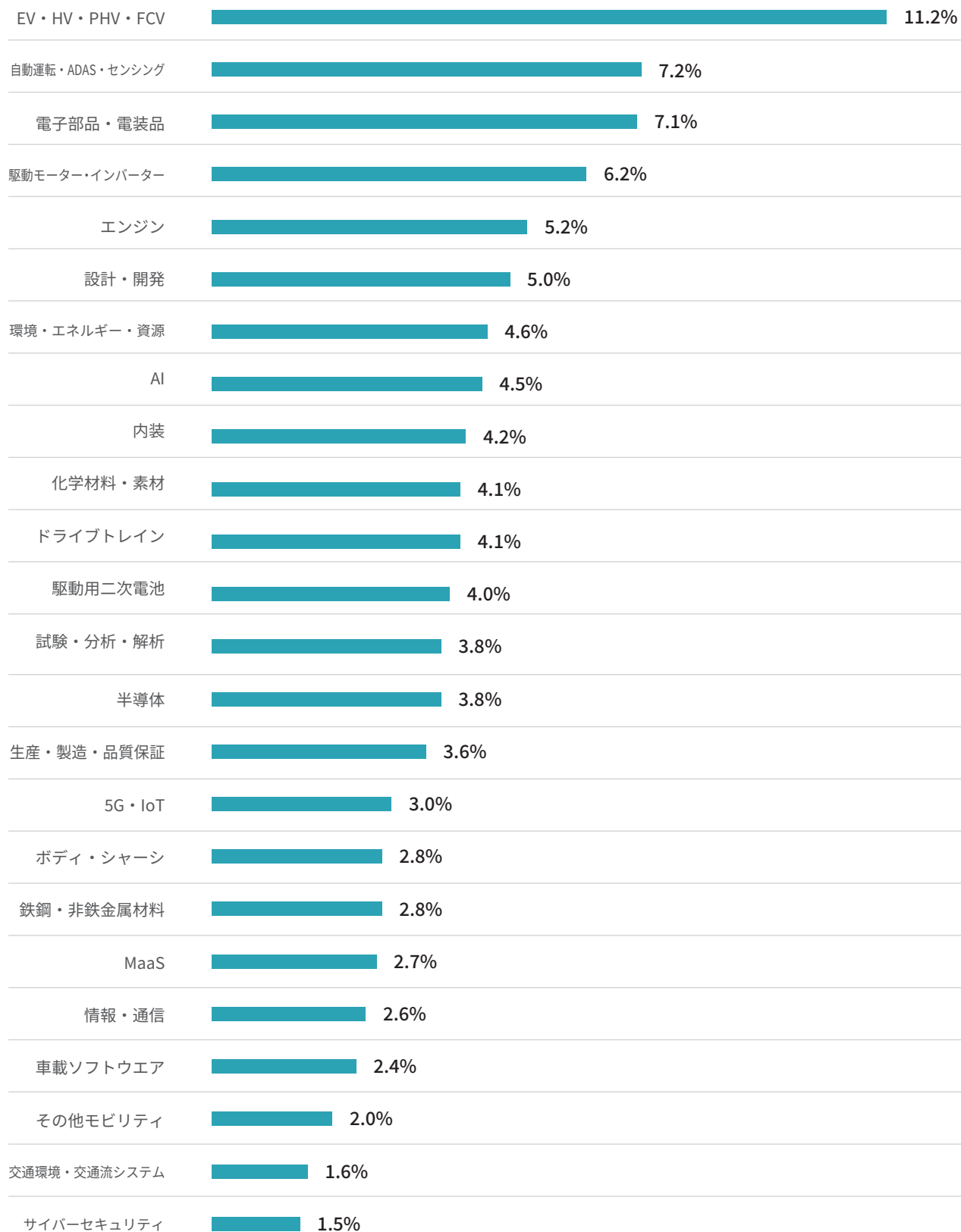
来場目的の達成度



次回来場の可能性



興味のあるカテゴリ



出展社による一般展示で印象に残った展示をお聞かせください。

eAxe

ECU 評価ツール

EV 対応フロントパネル

薄型インバータ

ADAS 技術

SiC パワー半導体

FCV システム

エンジニアリングプラスチック

カーボンニュートラル

海外向け戦略車

外観検査システム

回生協調ブレーキ

高圧水素タンク

高機能樹脂

小型モビリティ

CO₂ 回収システム

CO₂ 排出低減部材

次世代コクピット

実車のカットモデル

自動運転技術

車両運行管理システム

省エネルギー技術

衝突実験用ダミー人形

自立バイク

振動騒音関連計測機器

3D プリンタ

生産自動化システム

セルローズナノファイバー製品

空飛ぶくるま向け電動推進ユニット

太陽光発電システム

断熱材

超音波光探傷装置

T型トルクベクトリングユニット

テーラードブランク技術

デュアルドライブユニット

ドライブシミュレータ

燃料電池用バイポーラプレート

バイオ由来材料

疲労状態推定システム

V2X 技術

風洞試験システム

プラグインハイブリッド自動車

変形可能な熱伝導部材

ホットスタンプ

ミリ波電波吸収体

幼児置き去り検知システム

4人乗り低速モビリティ

LiDAR

リサイクル材料

ワイヤーハーネス

今後出展社に期待する展示テーマ・展示製品をお聞かせください。

IoT 関連技術	スマートシティ構想
アルミ関連技術	3D プリンタ
eAxle	セキュリティ対策
EV バッテリー	セルロースナノファイバー
e-fuel	空飛ぶくるま
AI 関連技術	耐候性試験機
ADAS	太陽光発電
SDGs 関連技術	超小型モビリティ
FCV 関連技術	通信・IT 関連企業
カーボンニュートラル	電機メーカーの動向
機械学習	電動ブレーキ
CASE 関連技術	内燃機関の今後の動向
コンセプトカー	燃料電池
再生エネルギー	バイオマス由来材料
サイバーセキュリティ	非接触三次元測定機
サスペンション関連技術	疲労推定システム
CFRP 製品	5G 通信技術
次世代車載ネットワーク	V2X 技術
自動運転技術	複合材料による軽量化技術
シャシー構造	MaaS
車室内空調技術	メタバース
充電器・充電インフラ	モーター技術
水素エンジン	LiDAR
水陸両用車	リサイクル材料
ステアバイワイヤ	ロボット技術

EXHIBITORS' VOICE

出展社アンケート

有効回答件数：71件

次回展示会への
出展を検討中

83.1%

多くの出展社様に
ご好評いただきました



出展社の声



3年振りの開催ということで当初はどのような展示会になるか少々不安でしたが、始まってみればいつもの活気に包まれておりました。新規の出会いはもちろん、旧知の関係者とも顔を合わせることができ、有意義な3日間を過ごすことができました。



横浜・名古屋両開催に出展しましたが、来場者層がそれぞれ異なり大変参考になりました。特に名古屋開催は高レベルな技術相談・ご要望が多く、弊社説明員もいつも以上に真剣に対応させていただきました。





愛知県に所在がある企業が来場者の大半を占めているように感じます。日本の自動車関連企業の集積地でもあるため、納得の結果です。中部以西の方が増えてくると、より盛り上がるのではないかと思います。

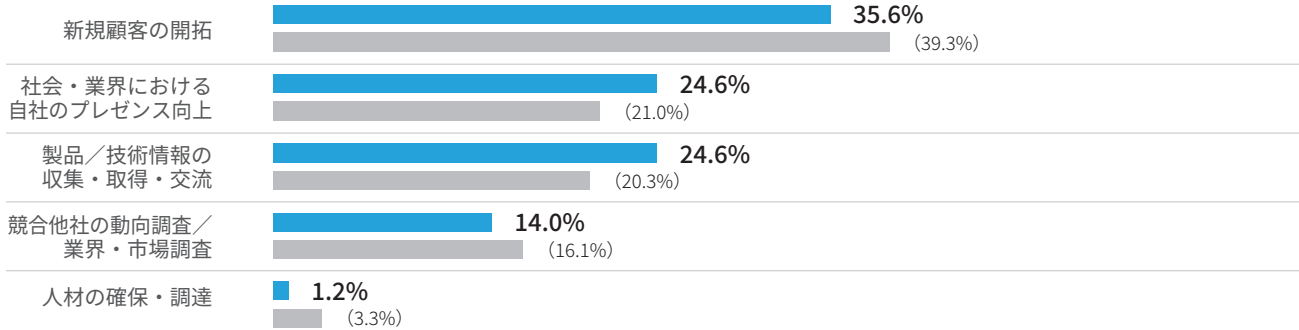


初めての出展でしたが、想定より多くの来場者の方に弊社ブースへ足を運んでいただけました。大小問わず多くの企業から踏み込んだ技術相談もいただき、今後の弊社事業の発展に繋がることを期待しています。

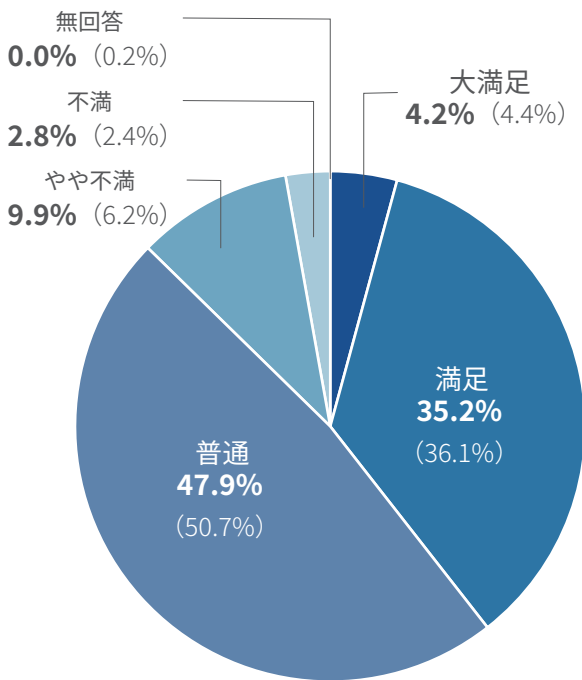
※()内は2019年度数値

 2022年
 2019年

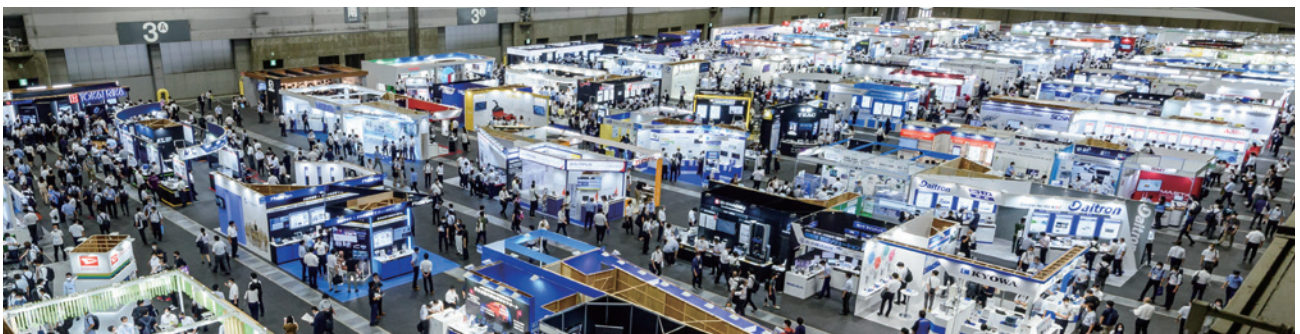
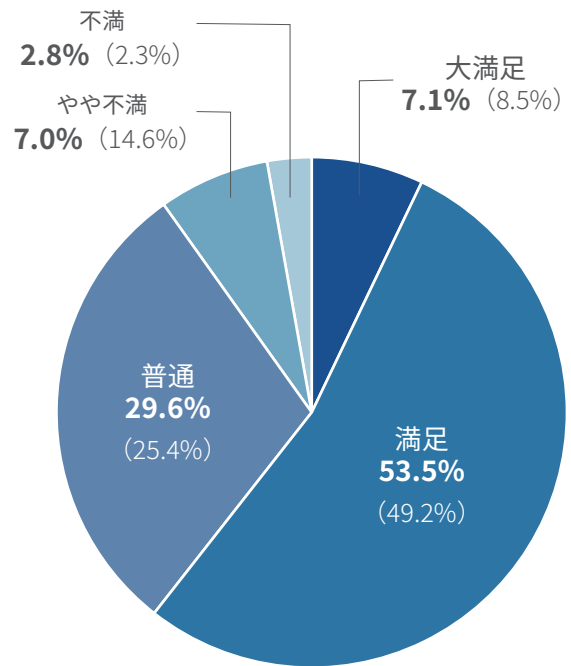
出展目的



出展目的の達成度

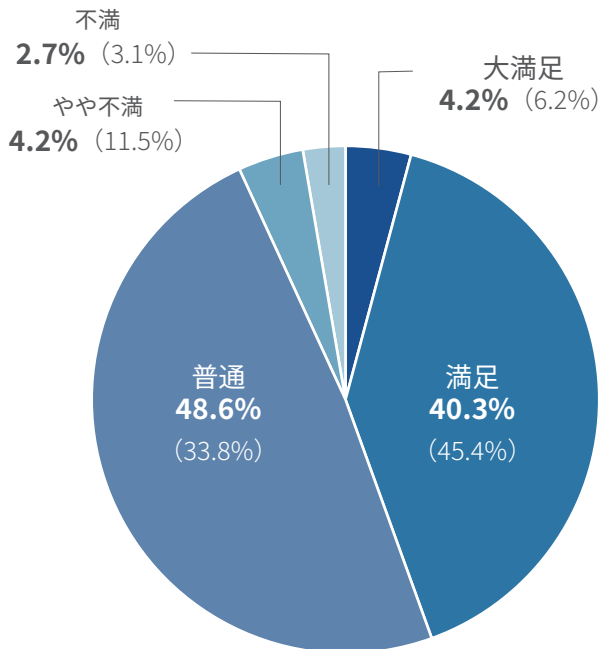


来場者の印象

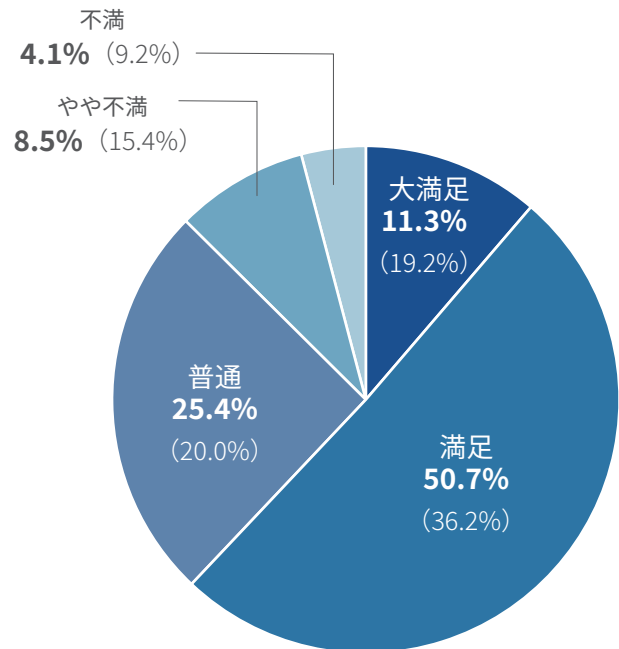


※()内は2019年度数値

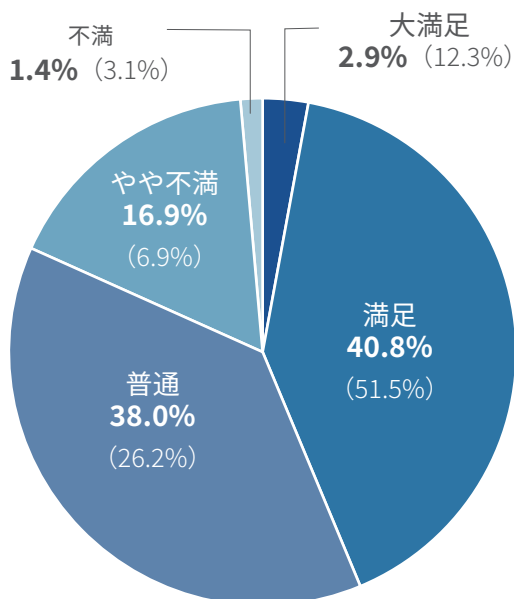
展示会場のレイアウト



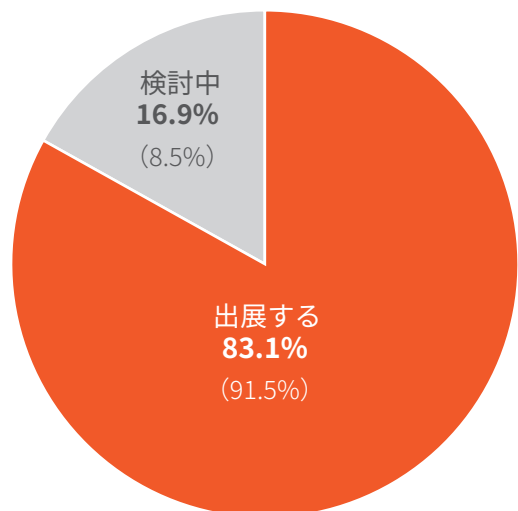
自社のブース位置



名古屋展示会 総合評価



次回出展の可能性



「JSAE 名古屋ベスト 30」 結果発表

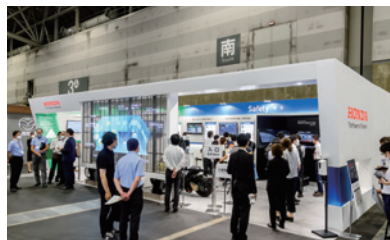
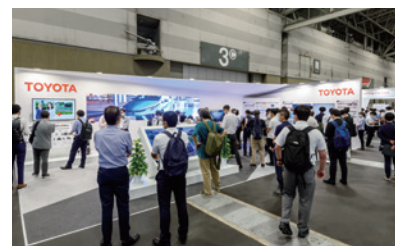
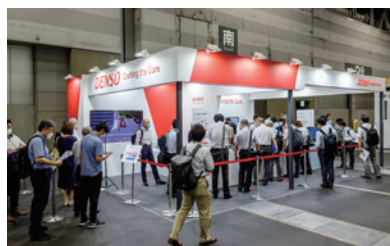
来場者の皆さまに最も印象に残った出展企業をお選びいただきました。

総投票数 **2,631**票 (2019年度2,910票)

1位	株式会社デンソー	16位	豊田合成株式会社
2位	トヨタ自動車株式会社	17位	トヨタ車体株式会社
3位	本田技研工業株式会社	18位	三井化学株式会社
4位	株式会社東海理化	19位	大豊工業株式会社
5位	マツダ株式会社	20位	デュポン株式会社
6位	日産自動車株式会社	21位	日本発条株式会社
7位	株式会社アイシン	22位	株式会社ユニバンス
8位	いすゞ自動車株式会社	23位	住友化学株式会社
9位	古河電気工業株式会社	24位	株式会社神戸製鋼所
10位	ダイハツ工業株式会社	25位	株式会社堀場製作所
11位	三菱自動車工業株式会社	26位	大同メタル工業株式会社
12位	住友電気工業株式会社	27位	トヨタテクニカルディベロップメント株式会社
13位	三菱ケミカル株式会社	28位	NOK 株式会社
14位	AGC 株式会社	29位	ヒロセ電機株式会社
15位	スズキ株式会社	30位	アキレス株式会社

その他、関心が寄せられた出展社

株式会社小野測器
 株式会社共和電業
 SABIC ジャパン
 株式会社島津製作所
 ダイトロン株式会社
 株式会社椿本チエイン
 株式会社 TOP
 株式会社トピア
 株式会社明電舎
 森六グループ



貢献出展社様一覧

本展示会に多大なるご貢献を賜りました出展社様に、
自動車技術会として深く感謝の意を表し、2009年以降感謝状を贈呈しております。

貢献出展社一覧



株式会社オクテック



QMAIL



株式会社東海理化



株式会社ヒューマネティクス・イノベティブ・ソリューションズ・ジャパン



古河電気工業株式会社

選考基準

「人とくるまのテクノロジー展」への出展累計回数 15 回以上、
もしくは出展累計小間数が 50 小間以上となられた出展社様

THE NUMBER OF EXHIBITORS / 出展社数 **165**社

THE NUMBER OF EXHIBIT BOOTHS / 出展小間数 **406**小間

自動車

8社

部品

49社

材料

18社

テストング

50社

CAEソリューション

12社

カーエレクトロニクス

24社

R&D・出版・団体

4社

カテゴリ別・五十音順掲載

・印は共同出展社／グループ出展社です。

自動車

いすゞ自動車株式会社

スズキ株式会社

ダイハツ工業株式会社

トヨタ自動車株式会社

日産自動車株式会社

本田技研工業株式会社

マツダ株式会社

三菱自動車工業株式会社

キーパー株式会社

株式会社クリモト

三洋貿易株式会社

株式会社昭和

スパルジャパン株式会社

住友電気工業株式会社

セプトン

SONCEBOZ SA

大同メタル工業株式会社

大豊工業株式会社

太陽誘電株式会社

中日電熱株式会社

株式会社椿本チエイン

株式会社デンソー

株式会社東海理化

東フロコーポレーション株式会社

株式会社戸田レーシング

株式会社TOP

株式会社トピア

豊田合成株式会社

トヨタ車体株式会社

日昌株式会社

株式会社日進製作所

・Inmotive Inc.

日本発条株式会社

日本エンジン株式会社

日本ジッパーチュービング株式会社

日本 3D プリンター株式会社

伯東株式会社

ヒロセ電機株式会社

不二電子工業株式会社

古河電気工業株式会社

プロドライブテクノロジーズ・ジャパン株式会社

ベア・ヘラサーモコントロールジャパン株式会社

本多通信工業株式会社

マイクロファスナー株式会社

松本興産株式会社

ムラテックメカトロニクス株式会社／

ムラテック販売株式会社

ものづくり支援センターしもすわ

森六グループ

株式会社ユニバンス

部品

株式会社アイシン

株式会社アスク

Aspen Aerogels, Inc.

NOK 株式会社

株式会社 FTS

小川工業株式会社

カウテックスジャパン株式会社

EXHIBITORS LIST ≡

レイモン ジャパン株式会社	株式会社三弘	
	JFE テクノリサーチ株式会社	
材料	シナノケンシ株式会社	CAEソリューション
	株式会社島津製作所	
	JUKI 株式会社	株式会社 RPV
井前工業株式会社	ストリング株式会社	株式会社 IDAJ
ウルヴァリン ジャパン株式会社	ダイトロン株式会社	SMT ジャパン
AGC 株式会社	株式会社高砂製作所	SCSK 株式会社
・AGC セラミックス株式会社	ティアック株式会社	株式会社科学計算総合研究所
MI-6 株式会社	株式会社ディテクト	Caresoft / 三洋貿易
株式会社神戸製鋼所	テスコ株式会社	Satyam Venture Engineering Services Private Limited
SABIC ジャパン	株式会社東京測器研究所	
サンドビックマテリアルズテクノロジー ジャパン株式会社	株式会社東陽テクニカ	ソリッドワークス・ジャパン株式会社
住友化学株式会社	トヨタテクニカルディベロップメント株式会社	トビー・テクノロジー株式会社
星和電機株式会社	株式会社ナックイメージテクノロジー	日本無線株式会社
デュポン株式会社	株式会社ニコンノ	株式会社ファソテック
戸田工業株式会社	株式会社ニコンソリューションズ	株式会社 BETA CAE Systems Japan
三井化学株式会社	株式会社ニシヤマ	
株式会社三井化学分析センター	株式会社 NIPPO	カーエレクトロニクス
三菱ケミカル株式会社	株式会社日本ヴィアイグレイド	
三菱製紙株式会社	一般財団法人日本品質保証機構	
三菱マテリアル株式会社	株式会社日本風洞製作所	アキレス株式会社
株式会社 UACJ	日本マーテック株式会社	株式会社インテクノス・ジャパン
	パルステック工業株式会社	SOLIZE 株式会社
テスト	株式会社ヒューマネティクス・イノベティブ・ソリューションズ・ジャパン	株式会社チップワンストップ
	株式会社フォトロン	株式会社 DTS インサイト
	株式会社富士テクニカルリサーチ	株式会社フォーラムエイト
アトセンス株式会社	ヘッドアコースティクスジャパン株式会社	株式会社マックスシステムズ
株式会社アプトポッド	ホットインガー・ブリュエル・ケア	・ I D T ジャパン株式会社
株式会社イーゲーメジャー	株式会社堀場製作所	・株式会社アクレーテック・パワートロシステム
株式会社エー・アンド・デイ	丸文株式会社	・岩崎通信機株式会社
・株式会社ベスト測器	丸紅情報システムズ株式会社	・SMFL レンタル株式会社
・株式会社サム電子機械	株式会社明電舎	・株式会社エヌエフ回路設計ブロック
エースポイントシステムズ株式会社	大和製衡株式会社	・キーコム株式会社
株式会社オクテック	株式会社 UL Japan	・楠本化成株式会社 エタック事業部
株式会社小野測器	ヨメザジャパン株式会社	・クロマジパン株式会社
株式会社 GAFS	リオン株式会社	・株式会社テクシオ・テクノロジー
株式会社共和電業	株式会社レーザー計測	・日本ノーベル株式会社
株式会社コーレンス	ロッチオーニ・ジャパン株式会社	・株式会社ノイズ研究所
		・日置電機株式会社

- 株式会社松浦電弘社
- ローデ・シュワルツ・ジャパン株式会社
- AV Simulation
- 株式会社デンソー／日本ノーベル株式会社／株式会社マックシステムズ
- テレダイン・レクロイ

(R&D・出版・団体)

アーカイブティップス株式会社

IHS Markit now a part of S&P Global

A2Mac1 JAPAN 株式会社

QMAIL

自動車技術会企画 — 主催者企画展示

熱い思いで切り拓こう！カーボンニュートラルへの道

自動車技術開発の歴史を振り返ると、私たちの社会を便利で豊かなものとするため、自動車業界だけでなく関係業界をも巻き込み総力を結集した開発に明け暮れた日々であったと思います。そして現在、脱炭素という地球規模でのニーズが押し寄せ、日本をはじめとする多くの国・地域が「2050年カーボンニュートラル達成」という目標を宣言しています。その目標達成のため、解決策の一つとして自動車の電動化が叫ばれ、内燃機関の販売禁止をも含めた規制強化に乗り出す国・地域も現れています。日本においても、様々な角度から国情に沿った検討が進められています。

この世界的な目標であるカーボンニュートラルに向け、自動車業界においてもこれまで以上に技術開発に広がりを持ち、業界内外の垣根を超えた協力が行われています。

ご覧いただきました「人くるまのテクノロジー展 2022」を、今後のカーボンニュートラル実現に向けた行動の一助としていただければ幸いです。

「知恵・技・匠」が照らすカーボンニュートラルへの道

再生エネ、省エネに関係するエネルギー全体の技術を取り上げ、最新の再生可能エネルギー発電における要素技術、製造工程（ものづくり）における省エネ技術、車両性能向上のための燃費・電費向上技術など、自動車関連に限らず幅広い観点から技術情報を集め、「知恵・技・匠」としてカーボンニュートラルを目指す技術を展示いたしました。

最新の再生可能エネルギー 発電における要素技術

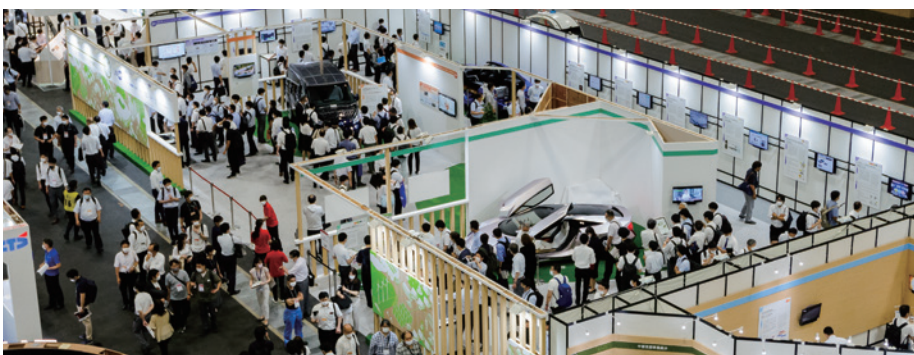
最新の再生可能エネルギー発電における要素技術のゾーンでは、太陽光、水力、風力といった自然エネルギーに着目し、太陽光発電では、車載太陽光パネルとその実証車、窓ガラスで発電可能な光発電素子、水力発電では、設置面積小の小型水力発電技術、風力発電では、減速機や電動機の小型、軽量、高効率技術など、「知恵・技・匠」として展示いたしました。

製造工程（ものづくり）に おける省エネ技術

製造工程（ものづくり）における省エネ技術のゾーンでは、材料・工程・設備・創意工夫など、ものづくりの要素に着目し、材料や製造工程の見直しでエネルギーを削減した事例、ボイラー・モーターなど設備の効率化による損失の削減、現場の知恵と工夫で省エネを実現した事例など、ものづくりの各プロセスにおける省エネ活動を「知恵・技・匠」として展示いたしました。

車両性能向上のための 燃費・電費向上技術

車両性能向上のための燃費、電費向上技術のゾーンでは、鋼材の新接合法の適用技術や植物由来のセルロースナノファイバーを用いた最新複合化技術など、より汎用性の高い軽量化技術に着目すると同時に、燃費・電費に影響のある補機負荷低減技術として電動車用エアコンの高効率化技術を取り上げ、「知恵・技・匠」として展示いたしました。



展示協力企業・団体

（五十音順掲載）

NTTアドバンステクノロジー株式会社／王子ホールディングス株式会社／環境省／シャープ株式会社／株式会社SUBARU／田中水力株式会社／中部電力ミライズ株式会社／株式会社デンソー／株式会社デンソー岩手／トヨタ自動車株式会社／株式会社豊田自動織機／ナノセルロースジャパン／日産自動車株式会社／日本特殊陶業株式会社／NEDO／マツダ株式会社／株式会社三井三池製作所

自動車技術会企画 — 中部支部企画展示

『新領域のモビリティ技術を学ぶ場、体験する場を提供』を活動スローガンとし、「自動運転」をテーマとした展示を企画しました。

中部地区の企業を中心に、自動運転に関連した技術・製品をご紹介します。また、現地会場では自動運転デモ車による試乗体験を実施いたしました。

自動運転の認知分野ではセンサー技術が重要です。道路上の障害物・人など自車周りの認知が可能な光センサー技術、環境に影響されずに自車位置を推定する磁気センサー技術、高感度磁気センサーの精度向上に寄与する磁性材料をご紹介します。

自動運転車が安全に走行するためには、自車周囲の物体認識と状況判断の高精度な AI 技術が重要です。判断分野では実走行データを収集し、ソフト開発に活用する評価技術や、実走行では取得困難な悪環境や危険な状況における走行データ生成方法をご紹介します。

認知 判断

刻々と変化する道路状況を把握し、判断につなげるには、高速かつ安定した送受信システムが必要です。通信分野では、道路や建物などの 3D マップを用いた仮想空間での電波伝搬エミュレーション技術、DSRC やセルラー通信を通じて安全運転を支援する V2X 通信技術をご紹介します。

自動運転では自車の位置を正確に認識する必要があります。地図分野では、そのために必要不可欠な多くの情報を含む高精度三次元地図と、自動走行分野における地図データの様々な技術をご紹介します。

通信 地図



展示協力企業・団体

(五十音順掲載)

アイサンテクノロジー株式会社／愛知製鋼株式会社／株式会社OTSL／大同特殊鋼株式会社／萩原エレクトロニクス株式会社／浜松ホトニクス株式会社／株式会社村田製作所

自動運転デモ車試乗体験

ハンドルやブレーキ等を使用しないラストワンマイル向け自動運転EVへの試乗体験を実施し、高精度三次元地図等を活用した自動運転走行を体感いただきました。

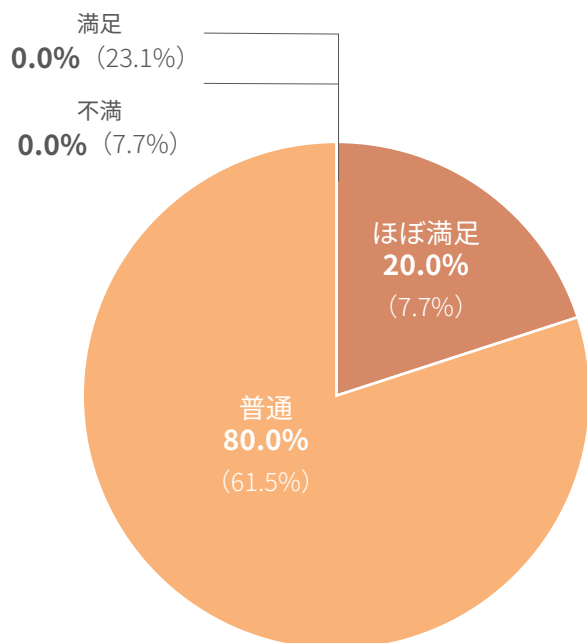
協力：アイサンテクノロジー株式会社



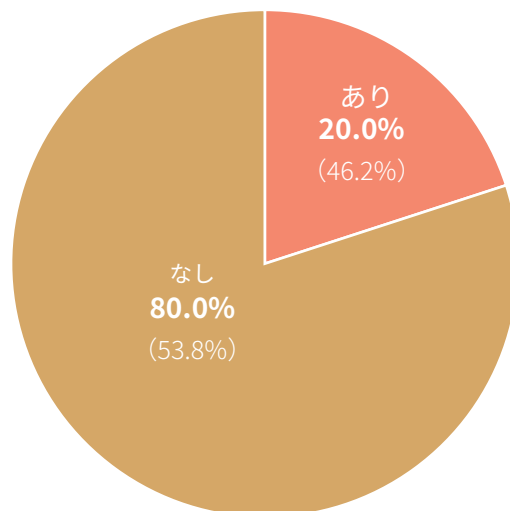
本展示会の広報活動について、出展社にご回答いただきました。

※()内は2019年度数値

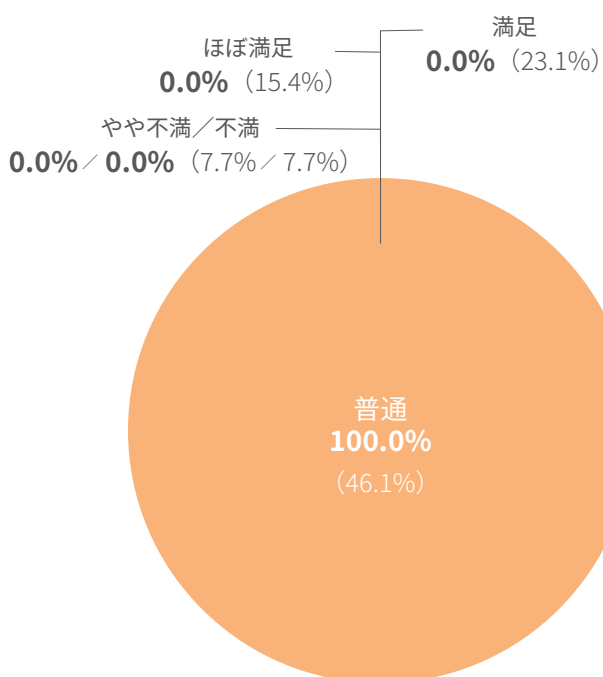
事務局としての広報活動について



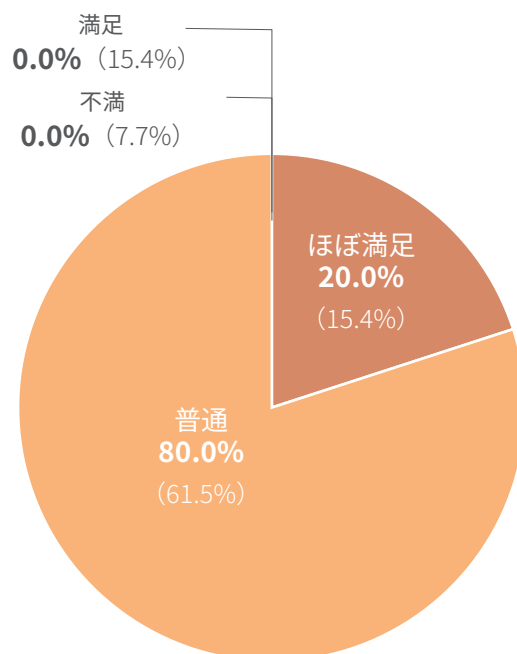
貴社ブースに対して取材の申込みの有無



簡易プレスリリースの展開について



簡易プレスリリースの内容・進め方について



本展示会は、様々な媒体で掲載・紹介されました。

テレビ

- NHK 名古屋 「NHK 名古屋ニュース」 6/29

新聞

- 中部経済新聞 6/16、6/29、6/30、7/1
- 日刊自動車新聞 6/16、6/27、6/30、7/2
- 日本経済新聞 6/23、6/28
- 日刊自動車新聞 電子版 7/2、7/11
- 日本経済新聞 電子版 7/4
- 福島民友新聞 7/5
- 財経新聞 電子版 7/11

WEB

&M

ValuePress

carview!

TECH+

Car Watch

NEWSRELEASE.SE

YAHOO! ニュース

Response

価格 .com

Car& レジャー

展示会と MICE

日経クロストレンド

Motor-FanTECH

NHK NEWS WEB

47News

乗りものニュース

excite. ニュース

TOPNEWS

日経クロステック

秋田魁新報社

潤滑経済

下野新聞

Merkmal

時事ドットコム

MOTA

BIGLOBE ニュース

WMR Tokyo

産学官連携ジャーナル

本展示会は、多くのメディアに注目されました。

計 **78** 社 ※フリーランス等含む (2019年度 44社)
(五十音順掲載)

株式会社アイシス

特定非営利活動法人 ITS プラットフォーム 21

IPN 株式会社

株式会社アミノ

伊藤公一事務所

株式会社インプレス

エイディ・アンド・エム株式会社

NHK 名古屋放送局

オーティス株式会社

株式会社オーバル

株式会社鎌倉文化社

株式会社ガラス新聞社

株式会社交通毎日新聞社

株式会社コプレック

株式会社サン

株式会社三栄

株式会社産業新聞社

株式会社産業タイムズ社

CQ 出版株式会社

株式会社ジェイツ・コンプレックス

株式会社時事通信社

株式会社時報社

株式会社新樹社

株式会社新東通信

新日本企画株式会社

素形材通信社

株式会社中外

株式会社中日新聞社

株式会社中部経済新聞社

株式会社 Tech-T

株式会社電波新聞社

東京半島株式会社

TopNews 株式会社

中島南事務所

一般社団法人なごやメディア研究会

株式会社日刊工業新聞

株式会社日刊自動車新聞社

株式会社日経 BP

株式会社日本経済新聞社

株式会社日本産機新聞社

日本自動車ジャーナリスト協会

株式会社燃料油脂新聞社

株式会社博報堂

パスカル株式会社

ビジネスファイターズ合同会社

株式会社ファスニングジャーナル

株式会社フォーイン

株式会社富士経済

プラスチック・ジャパン株式会社

フロスト・アンド・サリバン・ジャパン株式会社

HORI PARTNERS

マークラインズ株式会社

株式会社マルカ

株式会社メディア・ヴァーグ

・・・フリーランス etc

人とくるまのテクノロジー展 2023 名古屋

Automotive Engineering Exposition 2023 Nagoya

開催のご案内

2023
7 / 5 Wed 6 Thu 7 Fri

Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場)

Aichi Sky Expo (Aichi International Exhibition Center), Aichi, Japan

NEW!

開催地が変わりました!

開催概要

- 名称: 人とくるまのテクノロジー展 2023 名古屋
主催: 公益社団法人自動車技術会
会期: 2023年7月5日(水)~7日(金)
5日(水)・6日(木) 10:00~18:00
7日(金) 10:00~17:00
会場: Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場)
来場対象者: 自動車、部品、車体メーカーの設計/研究/実験/開発の技術者・研究者、生産技術・品質管理/技術管理/購買部門の担当者、公的研究機関の技術者・研究者、自動車周辺企業の技術関係者、大学/専門学校/工業高校の教職員・学生など
展示規模: 約250社~、約750小間(見込み)
展示面積: 20,000m²(予定)
来場者: 30,000人(見込み)

出展料金(予定)

	賛助会員*	会員外
1小間単位	¥330,000	¥440,000

(税込金額)

- 小間仕様サイズ: 幅 3.0m × 奥行 3.0m × 高さ 3.0m
- 上記の小間料金はスペース料金です。基礎装飾、電気工事費は含まれておりません。
- 海外出展社におかれましても、消費税は加算されます。
- 開催日、出展料金は予告なく変更となる場合がございます。

*賛助会員資格: 最低 10 口(年会費 110,000 円)以上の賛助会員が対象です。
(注意) 賛助会員の割引適用を受けるには、展示会開催時に賛助会員であることが条件です。新規入会をご希望の場合は、展示会運営事務局までお問合せください。

オンライン展示会については後日ご案内いたします。

タイムスケジュールのご案内

出展申込 受付開始日 (WEBのみ) 2022年11月30日(水) 予定

出展申込 締切日 2023年2月10日(金)

出展社説明会 ※オンライン開催 2023年3月中旬(予定)

出展料金 支払締切日 2023年5月31日(水)

搬入日 2023年7月3日(月)
2023年7月4日(火)

展示会開催 2023年7月5日(水)
2023年7月6日(木)
2023年7月7日(金)

搬出日 2023年7月7日(金)

※2022年10月17日時点の予定です。ご案内の内容は変更となる場合がございます。

人とくるまのテクノロジー展 2023 横浜 2023年5月24日(水)~26日(金)にて開催予定!

【主催】

公益社団法人自動車技術会

【展示会運営事務局】

株式会社大成社

104-0041 東京都中央区新富 1-15-3 新富ミハマビル 6F

☎ 03-5542-0811

✉ exhib-expo@taiseisha.co.jp

🌐 <https://aee.expo-info.jsae.or.jp/ja/>